

北中城村



みんなで会議 みんなの議会

116号

令和7年12月定例議会

私の声

あなたの声を
一緒に届けよう!

特集 2026年
村議会議員選挙



本会議質疑
の様子は
こちらから

目次

- ・特集 2026年統一地方選挙... 2P
- ・補正予算 4P
- ・村長提言書 5P
- ・全国世界を目指す北中城んちゅ 6P
- ・一般質問 7~12P
- ・所管事務調査報告 13P
- ・政務活動報告 15P
- ・頑張る島んちゅ、編集後記 16P

クイズ「2022年村議会議員選挙投票率」

①41% ②51% ③61%

村議会議員選挙!

巻頭
特集

4年に1度の選挙

あなたの **声** は届いているか!
立候補して声を形にするもあり!

北中城村議会

議員報酬 月額 **23**万5千円~

年に2回の期末手当あり、政務活動費年12万円
委員長手当1万円、副議長は月額25万5千円、議長は月額30万円

北中城村議会

議員の最年長 **79**歳 最年少 **41**歳
70代5名、60代1名、50代5名、40代2名

全国町村議長会の調べでは、全国の町村議員の年齢の平均は「60歳以上70歳未満」が最も多く43.1%、次いで「70歳以上80歳未満」が31.3%となっており、平均年齢は高い傾向にある。

あなたへinterview

報告が早ければありがたい



日頃から地域の為に頑張っている議会議員ですが、相談事の進捗状況や内容結果も気になるところ。

報告等が早ければありがたい。

座間味 強さん(鳥袋在住)

北中城村議会

女性議員 **2**名

県内の女性議員の数は2022年の統一地方選挙では30町村で351名中42名となり全体の12%を占めている。女性議長は4名、副議長は7名になっている。

住民参加の拡大に期待

小規模ながらICT活用や効率的な議会運営、国際交流が進んでいる点で優れていると思います。

一方、議員数の少なさによる負担集中や専門性不足、広域連携の弱さが課題と聞いています。事務局強化、外部専門家の活用、広域連携の制度化、住民参加の拡大に期待しています。

玉城 祐一さん(安谷屋在住)



令和8年9月に北中城村議会議員選挙が予定されている。様々な声を届けるため、立候補するもよし、候補者に思いを託すもよし、
あなたの挑戦と意思がこの村の明日を創る!

議会が「行政の監視」機能になっているか
住民は「議会の監視」機能になっているか

2026年北中城村

あなたの一票と参加が
この村の未来を変える！

地方議会の主な役割は、住民の意見を反映させ、その地域社会の発展と福祉の向上に努めること。例えば、条例の制定、改廃、予算の決定など、自治体の意思決定を行い、自治体の事務が適正か調査、監視、公益に対する意見書の提出、住民からの請願や陳情の審査、人事の同意や選挙など、住民の代表として政策の決定に関わる役割がある。

議会の主な活動

- ・定例議会(3月、6月、9月、12月) ・臨時議会 ・常任委員会(総務厚生・建設文教)
- ・議会運営委員会 ・広報調査特別委員会 ・議会活性化委員会
- ・組合派遣議員(中城村北中城村清掃事務組合議会、中城北中城消防組合議会、介護保険広域連合議会、南部広域行政組合議会、中部広域市町村圏事務組合議会)
- ・議選監査委員 ・所管事務調査 ・政務活動
- ・政策立案に関わる活動 ・議会報告会など

あなたはどちら

賛成

反対

議員報酬引き上げの議論

北中城村議会では、行財政改革に基づいて、平成18年度に議員定数を20名から14名に削減し年間約2,000万円を削減しました。また、報酬も月額246,000円から235,000円に削減し年間132,000円削減。それ以降の約20年間議員報酬の見直しや検討がなされていない。

平成18年当時の財政規模からみても今は2倍になり、当時の最低賃金が608円から令和7年12月現在で1,023円に上がっていることを考えると議員報酬の見直しは、多様化したニーズや変化に対応しうる人材を確保するためにも必要と考えている。

議会として、比嘉孝則村長へ「議員報酬見直し」についての要請書を提出した。

視点 論点

低い投票率は問題か？

投票率が低いことが問題視されている。それは政治への無関心かそれとも政治不信か。どちらとも言えるが、しかし、投票率が高くとも住民の政治に対する意識や関りが薄ければ社会課題の解決や健全な政治は実現できないといえる。

一方で、SNSの世界では政治に対し賛否両論様々な意見が出ており、SNSという言論空間で厳しく政治をチェックする風潮になってきている。

実際の社会空間の中でも政治への関心と政治家をしっかり監視する「責任ある市民」が必要だ。その答えは**シビックプライド**と**ローカルガバナンス**にあると思う。



シビックプライドとローカルガバナンス

シビックプライドは、地域の自然や歴史、文化、社会インフラ、地域住民の結びつきなど、様々な要素に対する誇りや愛着を持つこと。

ローカルガバナンスは、複雑化した社会問題を解決するために住民や企業、各種団体などが議会や行政側と関係を作り直し、参加と協働で新しい自治の運用を進めていく。

令和7年 12月定例議会

12月定例議会は、12月5日から16日までの12日間の会期で開かれた。提出議案9件で、条例の廃止、補正予算、陳情案件を審議した。審議の結果、全議案全会一致で可決された。また、9日と10日は一般質問が行われ9名の議員が登壇し行政を質しました。選挙管理委員の選挙も行われ、4名の委員と4名の補充員が選出された。

令和7年度一般会計補正予算〔第3号〕1億7,957万円を追加

令和7年度一般会計補正予算〔第4号〕72万円を追加

歳入歳出予算総額102億9,439万円

**9議案
全会一致で
可決**

12月定例議会で可決された
主な補正予算事業



**北中城村デマンド交通システム導入業務
3,000万円**



**障害福祉サービス費
2,300万円**

**児童の県外派遣に関する補助金
98万円**



**安谷屋第2地区不発弾等事前探査業務
(入札残1,815万円を予算組替え) 1,815万円**



令和8年 第1回 臨時議会

令和8年第1回北中城村議会臨時議会が1月21日に開催され、提出議案8件で、条例改正、補正予算の案件を審議しました。慎重に審議した結果、全会一致で可決されました。尚、補正予算第5号で2億9,341万円追加、補正予算第6号で1,031万円追加し歳入歳出予算の総額がそれぞれ105億9,812万円となった。

**物価高
対策**

物価高騰対応重点交付金1億7,140万円〔一人当たり8千円〕

・地域商品券配布による一人当たり8千円の物価高対策

物価高対応子育て応援手当補助金6,392万円〔一人当たり2万円〕

・18歳未満の子どもに2万円を支給



第3回 北中城村議会

議会報告会・意見交換会 提言書提出

令和7年6月27日に北中城村立中央公民館にて3回目となる議会報告会・意見交換会を開催し、たくさんの意見、提案をいただきました。

そこで、議会報告会・意見交換会終了後に議会活性化委員会を4回開催し、意見交換会で出ました意見、提案の取りまとめを行い、提言事項を決定いたしました。

令和7年12月5日に、名幸利積議長はじめ、喜屋武すま子副議長、上間堅治議会活性化委員会委員長で、比嘉孝則村長、仲本正一副村長へ政策に取り入れるよう提言書を提出しました。



左から上間委員長、喜屋武副議長、名幸議長、比嘉村長、仲本副村長

村民の声を形に

【提言項目】

・防災連絡協議会等の防災に関する組織を早期に設置することを求める。

全国的に毎年のように豪雨被害をうけ、県内では昨年北部豪雨、今年は北大東村、南大東村で記録的な大雨による浸水被害が確認されている。村内でも土砂災害警戒区域が多く存在し、土砂崩れも現実には起きている。さらに、南海トラフ地震が今後30年で80%の確率で発生、沖縄県周辺においても今後30年で巨大地震発生の可能性があると予想されている。

防災に関しては議会報告会及び意見交換会に於いて、毎回村民より意見等を頂いている。また、議会に於いても多くの議員が一般質問でも取り上げているが、残念ながら全自治会による防災組織の立ち上げ、一時避難所の指定及び運用等の不備、防災関連の人材育成等、さらには村全体としての防災訓練の実施も行われていない状況であり、防災意識が希薄になりかねない状況にある。防災計画を再度確認し、できるところから迅速な対応を求める。

選挙管理委員の選出

12月16日、12月定例議会中に、選挙管理委員の選挙が行われ、下記の4名が選出されました。任期は4年。

- 喜納 博(熱田在住)
- 宮里 勝(荻道在住)
- 比嘉 均(屋宜原在住)
- 山入端 亜希子(島袋在住)

健康づくりができる村

村民の声

よく村内の公民館や体育施設でバドミントンをしています。しかし、団体がまとめて予約を取っている月があり、利用できないことも多々ある。多くの村民がたくさん利用できる予約システムになったらうれしい。



伊礼 リカさん
(島袋在住)

北中城村から全国!世界へ!

新春
企画

北中城村議会だより「みんなで会議・みんなの議会」では、これまで頑張る島んちゅシリーズということで、多くの村民の方を紹介しインタビューしてきました。2026年の年明け発刊号ということで、午年に相応しい北中城村から全国!世界へ!「駆け抜ける!輝きを放つ島んちゅ」をインタビューしました。



周りの人に感謝して
がむしゃらに頑張る!

株式会社コロナワールド プロボウラー 安里 秀策さん

プロボウリング男子で2025年の年間王者に輝き、県勢初の快挙を成し遂げた。日本のボウリング界を牽引する熱田出身の安里秀策さん。

(子どもの頃はどんな子だった)自分自身はおとなしい子だったが周りが賑やかだった。

(プロボウリングの世界に入ったきっかけは)幼いころ沖縄出身の神田勝也プロを見てプロになりたいと思った。

(今後の目標は)ポイント、賞金、アベレージで1位の三冠王を勝ち取り、ボウリング界を盛り上げていく。

(子ども達や村民の方々へメッセージ)どんなスポーツや習い事でも親と周りの人への感謝を忘れずにがむしゃらに頑張ってほしい。村民の方には近くにボウリング場がたくさんあるので是非!ぜひ!レッツ!ボウリング!



頑張っていれば
きっと成功する!

株式会社ワイズリゾート沖縄 代表アシスタント 新里 風咲さん

第62回技能五輪全国大会2024・レストランサービス職種で金賞。ワールドスキルズ・アジア・タイペイ大会2025・レストランサービス職種で銅賞を受賞し、沖縄のホスピタリティ業界のホープとして期待されている美崎出身の新里風咲さん。

(子どもの頃はどんな子だった)体を動かすことが好きでよく外で遊んでいた。

(観光業界に入ったきっかけは)大学でホテルのサービスについて学び、観光の世界へ入った。現在はレストランの運営をする会社の社長アシスタントとして経営を学びながら勤務させて頂いている。

(今後の目標は)沖縄の本来の魅力を守り、量から質へと転換させる。私たちの手で価値を加えて質を高めていくことで、観光に携わる人材の育成につなげていきたい。

(子ども達や村民の方々へメッセージ)たくさんさんのチャンスは目の前に現れる。そのチャンスを無駄にせずチャレンジして自分の力にして欲しい。頑張っていれば、いつかきっと成功する。

村政を問う!

12月定例議会一般質問者 13名中、9名が登壇しました

●議場での傍聴やインターネットLIVE中継や録画も配信中 

島袋在任

喜屋武 功
きやん いたあ
議員




- ①再考すべき学校・公共施設の防犯対策
- ②九年堂ロータリーの勾配について
- ③村民劇比嘉太郎物語の取組と成果

P8

詳細は動画からチェック!

仲順在任

比嘉 悟
ひが げん
議員




- ①教育・子育て環境
- ②議員報酬及び議員のなり手不足

詳細は動画からチェック!

島袋在任

喜屋武 すま子
きやん すまこ
議員




- ①ライカム自治会結成と公民館建設
- ②「政府は日米地位協定を抜本的に見直し」の看板設置

P9

詳細は動画からチェック!

熱田在任

大城 律也
おしろい りつや
議員




- ①要人來客時の対応の意義
- ②青年エイサー前過祭 役場対応
- ③国道330号線屋根付きバス停(ライカム)の設置
- ④世界遺産中城城跡の観光資源有効活用

詳細は動画からチェック!

安谷屋在任

平安山 和美
へんざん かすみ
議員




- ①PFASについて
- ②手話施策について

P10

詳細は動画からチェック!

島袋在任

上間 堅治
うま けんじ
議員




- ①地元企業育成
- ②ハラスメントに関する取り組み
- ③公益通報についての村の取り組み

詳細は動画からチェック!

大城在任

川上 龍太
かわかみ りょうた
議員




- ①本村の観光振興取組みやビジョンは
- ②防犯灯に関して
- ③北中城小学校の体育館の雨漏れ

P11

詳細は動画からチェック!

裏宮場在任

比嘉 義弘
ひが よしひろ
議員




- ①農業政策の一環
- ②トンネルの活用
- ③村選挙管理委員会の機能
- ④比嘉太郎村民劇を見て

詳細は動画からチェック!

議会配信映像視聴方法

①スマートフォンで視聴したい議員の下にあるQRコードを読み込み再生ボタンをタップする



P12

裏宮場在任

比嘉 正志
ひが まさし
議員




- ①道路のカラー舗装
- ②安谷屋地区交差点 出入り口の信号機
- ③村民劇比嘉太郎物語
- ④ナスの御嶽前路上の起伏

詳細は動画からチェック!



全国三議長会のリーフレット

用語説明

全国三議長会: 全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会の三議長会。

仲順在任
比嘉 悟
議員
[QR Code]



詳細は動画からチェック!

全庁体制で村民を見守れ

村長 迅速な対応ができるよう対処したい

問 小学校体育館にWiFi設備の整備は。

答 次年度増設に向け予算計上している。

問 北中城小学校の2階部分、危険性を感じる。ネット等張れないか。

答 現場を確認して、対策が必要であれば検討を考えたい。

問 防犯カメラ、年1回の点検だけでなく日々の確認も必要だと思うが。

答 気づいた点があれば総務課へ報告という組織内へ通知したい。

問 子ども達の通学路の安全点検も防犯カメラ同様、全庁体制で見守ることはできないか。

答 村の方で迅速な対応ができるよう対処したい。

問 子ども医療費助成を高校生まで拡大は、いつ頃実施予定か。

答 実施に向け鋭意検討を進めている。

議員の報酬、なり手不足、主権者教育を村全体で考えて

問 20年間見直しや検討がなされていない議員報酬、第三者機関等での検討を要望する。

答 内部で協議している。

問 議員のなり手不足は、村の将来にも繋がると思う。9月には村議会議員選挙があり、今までの以上に周知が必要。

答 村民に関心を抱かせる周知を前向きに善処したい。

問 ※全国三議長会が作成したリーフレットを村の主権者教育に活用を。

答 村の未来を背負って立つ子ども達には重要だと思つので、活用を検討したい。



進化型刺股を利用した実演

抑止力になっていない学校の防犯対策

村長 実物を見て検討する

問 現在多くの学校や公共施設で配置されている※刺股であるが、その効果については多くの難点があり、生徒児童先生方の安全を担保するには

物足りていない。防犯具を配置する個数と根拠と避難訓練の回数は。

答 刺股は北中城小学校で2本、島袋小学校で1本、北中城中学校で1本所持しており、個数の根拠は特に決まりはございません。避難訓練は年1回になる。

用語説明

刺股: 相手の動きを封じ込める武器、捕具。

月に建設文教常任委員会のメンバーで、栃木県の進化型刺股の開発企業を視察した。栃木県警と共同開発したもので、その効果と拘束力は高いものがあつた。

答 動画等を見て確認した。その実物を見て検討することになる。

九年堂ロータリーの勾配問題

問 島袋小学校校門近くの九年堂ロータリーは勾配が強く車両のバンパーが道路にかかる事案があり、擦傷痕もたくさんある。道路使用者からするとかなり迷惑な話だ。早急な対応をすべき。

答 原因は速度の違いによるものと思われるので徐行を促す対応を検討する。

問 私は運動会の際に、この場所で交通誘導係をしたが、かなりの車両が道路にかかつていた。原因は勾配と言えり。

答 実際何キロが適切かは測っていない。何か物理的な方法で対策をする。



ハイグレードバス停の設置を

用語説明

ハイグレードバス停: 通常のバス停よりも設備が充実し、利用者の利便性・快適性を向上させたバス停のことで、大型の屋根やベンチ、バスの停車スペースなどが設置されバス利用者の促進と交通渋滞緩和を目指すものです。
歴史的風致: 地域の歴史や伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的価値のある建造物や周辺の市街地が一体となって初めて成立する、生きた地域の魅力を指す概念です。

問 ライカムバス停は、沖縄県最大の商業施設イオンモール沖縄ライカムへの主要なアクセスポイントである。また、学校や病院周辺の交通

村長

南部国道事務所長に要請してある

バス利用者のバス待ち環境改善の取り組みを



熱田在住
大城 律也
議員



詳細は動画からチェック!

答 ライカムバス停は、県内、県外、海外と多くの方が利用している。利用者のバス待ち環境の改善のため比嘉西原(那覇向け)バス停※ハイグレードバス停を設置してある。下りバス停も同様にハイグレードバス停の必要性を実感している。バス停に上屋やベンチの設置についても交通弱者のみならず、利用者のことを考えると必要だと痛感している。道路管理者である南部国道事務所長に要請してある。

弱者の方が利用することの多いバス停について風雨が防げて、安心安全にバスが利用できるように、バス停に上屋やベンチ等の設置で、バス利用者のバス待ち環境改善に取り組み必要がある。

中城城跡の観光資源有効活用を

問 中城城跡は、日本復帰に伴い、国指定史跡となり「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された。世界遺産の存在を地域経済の活性化につなげていくことが求められている。

答 「中城城跡」だけ観光して帰る「点」型観光から、両村のもつ「歴史的風致」を散策・回遊する「まちあるき観光」への転換をめざす必要がある。

問 世界遺産中城城跡の魅力発信と併せて、地域の観光資源を活用した観光まちづくりの推進は重要であると考えている。

ライカム自治会結成の進捗状況は

村長

12月の後半に情報交換を考えている

問 ライカム自治会結成と公民館建設が未だ進んでいない。進捗状況を伺う。

答 ここで中心となり得る方々とどういった手続きを取りながら自治会発足ができるか、12月の後半に情報交換しようかと考えている。



ライカム自治会結成を待ち望む

答 自治会長を早めに決めることが両方に求められる。

問 ※ライカム地区の多くが他区域からの移住者であり、従来の自治会づくりとは異なるものである。アワセ土地地区区画事業組合は、自治会づくりに土地を提供し、指定寄附も用意している。行政は、コミュニティ拠点づくりに方向性を決め、ライカム地区の有志を介してスケジュールを示すべきである。

日米地位協定の看板設置を

問 「政府は日米地位協定を抜本的に見直せ」の看板設置について、幾度となく取り上げた。村当局は、このたれ幕を常時掲げるわけでもなく、村民には強い意思は感じられない。場所、看板の費用などどう検討されたか。

答 第二庁舎の4階部分がどこからでも見える場所だが、約180万の設置費用がかかる。

問 看板設置の村長の本気度を伺う。

答 次年度80年事業として取り組んでいく。

用語説明

ライカム地区: 比嘉地区に置かれていた琉球米軍司令部 (Ryukyu Command) の略称で、2019年9月に住所が正式に「字ライカム」へと変更されました。現在は大型商業施設が集まる沖縄の主要なエリアとして、その名称が広く親しまれています。



島袋在住
上間 堅治
議員



詳細は動画からチェック!

きくらげを村の特産品へ

村長 名産品に該当すると考える

問 本村にはきくらげ栽培を行っている事業所があり、ふるさと納税の返礼品として商品を提供している。この事業者に対しての支援は行っているか。

答 各種補助事業の補助金申請書類作成等、生産活動の支援を行っている。

問 この事業者に対しての支援にあたり将来性についてはどのように考えているか。

答 品質管理に大変気を使っており、現状多方面もしくは多数に広げるといふ選択肢は持っていないが、本村のきくらげ栽培は1事業者であるが、こだわりややる気のある生産者についてはできる範囲で応援していきたい。

問 きくらげを村の特産品にしてはとの思いで質問している。噂では生産量はアサを上回っていると聞いている。また、県

内外からも注目を集めているが、村としての考えは。

答 きくらげに関しては日本各地で生産され、沖縄県は全国的に生産量が低く、※特産品と呼ぶには馴染まないと考えている。しかし似たような名前でも※名産品というのがありこれに該当すると考える。

ハラスメントの取組は

問 ここ数年自治体首长によるハラスメント等に関する問題が多発している。北中城村ではハラスメント防止等に関する規定があるがこの規程内容では不十分だと思いが。

答 本村のハラスメント防止等に関する規定では、行為者が組織を代表する者である場合や相談窓口等に関して十分に対応できている内容ではないと考える。

問 今後どのような体制づくりを行うのか。

答 相談窓口を外部に設置する見直しが必要と思う。

用語説明
特産品と名産品:特産品とは、その地域でしか作れないもの。名産品は、よその地域でも作ることが可能で、実際に作られているが、知名度で優れているもの。

きくらげ栽培を行う北中ファーム



ありがとう



手話「ありがとう」

防災訓練での手話を活用した取組みを

村長 各防災組織などと連携しながら取り組む

問 防災訓練における手話を活用した取組みの実績などは。

答 現時点ではないが、仲順自治会で親

用語説明
手話奉仕員養成講座:役場が社会福祉協議会に委託。手話を通して、聴覚障がい者とのコミュニケーションの架け橋となる手話奉仕員を養成する講座。

奉仕員の登録は平成18年度から行われており、村内外から44人の登録がある。

問 本村事業における、手話通訳者の活用計画はあるのか。

答 令和4年に身障者スポーツ大会での実績がある。今後は、講演会などでも検討すべきと考える。

問 学校教育に手話を取入れることについては、共生社会や多様性教育の観点に加え、簡単な手話は日常と緊急時に役立つ防災教育としても重要だと考えるが。

答 手話の学習機会を増やすことは、学習の質を高めて、そして多様なコミュニケーション手段の習得につながると思えている。今後、手話教育については、展開を活発にできるような支援をしていきたい。

問 窓口における手話通訳、遠隔通訳の利用状況は。

答 実績はない。令和6年度より多言語映像通訳用のタブレットを利用している。主に外国人の通訳をオンラインで行っていて、その中の機能として手話通訳がある。

問 ※手話奉仕員養成講座の実績は。

答 入門と基礎の2種類がある。直近では、令和5年12人、令和6年13人、令和7年8人。手話



和仁屋のボックスカルバート

用語説明

ボックスカルバート:道路の下を横断する道路、水路などに使用する構造物です。他に下水道や共同溝などにも使われています。

問 前村政時代にアンテナショップや農地放棄地の縮小そして農家の農作物量産販売拡充等

村長 大変重要だと考えている

農業分野の振興発展に関心はあるのか



比嘉 義弘 議員



詳細は動画からチェック!

の趣旨で指定管理者しおさい市場を漁港近くに展開したが、課題等があり残念ながら継続できなかった。村長は農業分野の振興発展には関心があるのか。

答 農業分野については、北中城村第5次総合計画でも示された通り大変重要だと考えている。

トンネルの活用

問 和仁屋付近の村が管理する※ボックスカルバートの落書きが増えているが、その対応は。

答 これまでの経験からすると、先に絵を描いておくほうが、落書き

の対策になっていないと考えている。自治会から落書き対策の申し出があれば考えた。

村選挙管理委員会の対応

問 新聞記事によると、商工会の会長が一候補者に投票するよう促した記事が出ていたが、選挙管理委員会の対応は。

答 村商工会会長より聞き取り及び事実確認を行い、口頭指導を行った。

比嘉太郎村民劇

問 多くの村民が観られなかったという事で非常に残念がっている。再度上演するには、大変な労力と資金が必要とのことだが、方法はないのか。

答 文化的な事業等については、県の文化観光スポーツ部の方で制度資金を活用できると思う。



川上 龍太 議員



詳細は動画からチェック!

雨漏りの修繕は今年度からやるべき

村長 次年度に屋根以外にも含めた大規模修繕を行う予定

問 学校施設は生徒の学習の場であるとともに、非常災害時には避難所としての役割を担う場所。



雨漏りする北中城小学校体育館

用語説明

補助金:国庫補助金とは国が特定の事業を奨励または財政援助するために交付するお金。

予備費:地方自治体の予備費とは、予算に定められていない支出や予算を超過する支出に備えるため、用途を特定せずに計上する費用。

問 北中城小学校は3年間体育の研究指定校となっている。体育館雨漏りの修繕が遅れると、梅雨時期は特に運動場も体育館も使えないとなった場合、非常に困る。次年度と言わず、今年度から応急処置等できることはやっていくべき。次年度予算がついた時に大規模修繕が望ましいのでは。

答 調査・修繕も大規模となる事から次年度に※補助金を活用して屋根以外にも含めた大規模修繕を行う予定。

問 もっと早くやらなといけない。※予備費等別の予算からの対応は。

答 例えばすぐにでも危険が及びそうな修繕箇所が見つかった場合は予備費での対応も可能。状況に応じて一般財源を活用したほうが良いか総合的な判断になる。

喜舎場在住
ひが まさて
比嘉 正志
議員



詳細は動画からチェック!

路面にカラー舗装を

村長 おゆずりゾーンでも良いのでは

問 区道81号線、石平地区の出入り口部分停止禁止の規制表示の色が薄くなっており視認性が悪い。昨年3月議会でも質問したがこれまで関係機関との調整は行ったのか。



規制表示はくっきりと

答 令和6年7月に県中部土木事務所との意見交換会の議題に提案した。交通規制に関わる案件であることから県から県警に周知されている旨の回答があった。村からも警察に相談しているが具体的な実施時期については明言はない。

問 停止禁止のエリアがくっきりはつきり分かるように路面にカラー舗装を行い、その後に警察により停止禁止の道路標示を上から被せるようにできないか。

答 村として分かりやすい表示をお願いしたところ県警の方で検討しているという。県としては標示を見やすくするというところで規制表示ではなく、おゆずりゾーンという形でも良いのではないかと検討しているという。

信号機の切り替わりが早い

問 安谷屋地区から県道81号線への出入り口の信号機の切り替わりが早いため2〜3台ぐらいしか通過ができない。警察から切り替え時間などの調整は村に行われるのか。

答 村と県と警察において周辺一帯も含む全体的な交通の流れを検討した上で*サイクルタイムが設定される。

問 この信号機の8秒短い。当時の経緯で切り替え時間の配分が行われたと思うが、これを変える時期にきているのでは。

答 サイクルタイムについては警察の方で前向きに検討されている。

用語説明

サイクルタイム: 信号機の青→黄→赤と一巡する時間を[サイクル]といい、サイクルが短すぎると通行できる量が少なく渋滞の原因となり、逆に長すぎるとムダな時間が増える。

議会傍聴者に聞く **どうでしたか議会?**



きよと
比嘉 清人さん(仲順在住)

希望ある
発言を!

今回2回目の傍聴になる。議員が住民の声を必死に訴えている熱い雰囲気は伝わった。しかし、発言力が弱い議員も見られた。もっと深く、力強く追及する姿勢を見せて欲しい。村の明るい未来が見えるような希望のある発言をして欲しい。



たかお
比嘉 隆夫さん(和仁屋在住)

思い
伝わった!

他市町村では議場と傍聴席が遠いが、北中城村の場合とても近く、議員の質問に対する思いなどが伝わってきた。これからも傍聴を続け議員をチェックしていくので緊張感をもって議会活動を行って欲しい。



まさゆき
喜屋武 正行さん(島袋在住)

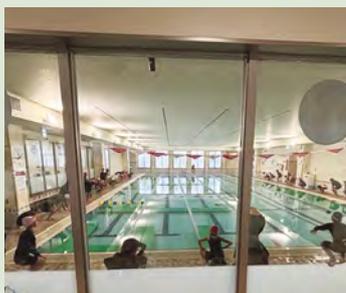
議場が
平面でいい

行政側も議員も政治のプロであり自信と信念を持って活発な質疑応答を願いたい。自信の無さそうな質問や答弁が多いのが気になる。議会の議論が、北中城村の未来を創造する。活発に頑張りたい。



企業力で教育事業に力をつける

- 〈開催日〉令和7年10月21日
- 〈調査場所〉①スポーツクラブネサンス
②ハローワールド株式会社
- 〈参加議員〉建設文教常任委員会委員7名
- 〈調査項目〉①水泳事業 ②語学事業



スポーツクラブネサンス



ハローワールド株式会社

①スポーツクラブネサンス：水泳事業

令和6年7月に文部科学省から「プールの管理業務の外部委託と教員の負担軽減につながる対策を検討するように」と全国の教育委員会に通知されたことを背景に、全国的に水泳事業の民間委託が増えている。そこで、中城村の小学校3校と北谷町の小学校1校の水泳事業を受けているスポーツクラブネサンス（北中城村内）を視察した。

スポーツクラブネサンスの水泳事業は専門指導員や監視スタッフの配置で泳力の向上や安全性の確保が図られ、年中通して天候に左右されず計画通りに水泳事業が行われ、水泳に必要な装備品も充実していることが大きなメリットで、その他にも教員の負担軽減にもつながるといったことが分かった。

北中城村内の学校プールの耐用年数が迫る中でその課題解決にもつながるといえるが、民間委託にかかる費用の捻出をどうしていくかが鍵にもなる。

②ハローワールド株式会社：英語学習事業

北中城村のみならず県外でも英語学習を展開するハローワールド株式会社を視察してきました。特質すべきはオンラインによる国際交流により低コストで多国間交流ができるプラットフォームを持っている。他にもITやAIを活用した英会話学習をしており、生徒のレベルに合わせた形で英語力の向上につなげられるシステムが一番のポイントであった。

経済的な差を超え分け隔てない取組みこそが広く人材育成につながると感じた。

子育てニーズにどう応えるか

総務厚生常任委員会

- 〈調査日〉令和7年11月25日
- 〈調査場所〉むぎの穂こどもくらぶ
- 〈参加議員〉総務厚生常任委員会委員4名
- 〈調査項目〉村内学童クラブの現状について

北中城村の学童クラブとしてのニーズ調査も含めて自主運営学童クラブむぎの穂こどもくらぶに所管事務調査をした。

学童クラブのニーズの高まりがある中で、空きのある学童とそうでない学童もある。そこで、学童クラブ側と行政側の待機児童に対する認識の違いもまた存在するが、子育て環境の充実のために今後どうマッチングできるか引き続き委員会として調査していく。



むぎの穂こどもくらぶ

■〈調査期日〉令和7年10月27日～29日

■〈調査場所〉

- ①有限会社佐野機工(栃木県真岡市)
- ②小山市役所(栃木県小山市)
- ③道の駅まえばし赤城(群馬県前橋市)
- ④川場田園プラザ(群馬県川場村)
- ⑤ヨコハマ・エアキャビン(神奈川県横浜市)

■〈参加議員〉建設文教常任委員会委員7名

■〈調査項目〉①学校及び公的施設の防犯対策 ②有機農業の取組み ③観光振興



安全・安心を追求する！

①防犯対策：有限会社佐野機工

各学校、公共施設に防犯具が配備されているが、その中でも機能性や制圧力で定評がある佐野機工の防犯具を調査してきた。

通常用いられている刺股は不審者対応の防犯具としては複数人でしかも専門的な訓練をした人でないと対応力に欠けるところがあるが、佐野機工が栃木県警と共同で開発した進化型刺股は強度と軽さ、操作性と制圧力を兼ね備えたものとして警察庁長官賞も受賞している。

学校、公的施設において、安全を確保しいかに命を守りぬくかが重要であるので、今後の防犯対策の参考事例になった。



②有機農業の取組み：小山市役所

栃木県小山市は栃木県で2番目に人口の多い都市で、コウノトリが繁殖している街である。そこで、生物多様性に配慮した持続可能な地域農業の発展と都市環境と田園環境の調和の取れた田園環境都市の実現に向けて、栃木県初の「オーガニックビレッジ」宣言を行った。

小山市はオーガニック給食を進めながら地産地消、食育、食品ロスの軽減、環境保全、地域経済の循環の形を作っている。

「大地や食が人を生かし育てている」という視点からからだに優しい農業の推進こそ本来の農業である。実際、北中城村の「農を活かした福祉の里づくり」プロジェクトにおいても大いに参考になり学ぶ場面はたくさんあった。



③観光振興：道の駅まえばし赤城、川場田園プラザ、ヨコハマ・エアキャビン

群馬県にある道の駅まえばし赤城と川場田園プラザは共に全国道の駅ランキング上位で毎年200万人～300万人が来場する人気スポットである。

この2箇所の道の駅は地域の特産品や農産物直売所、飲食エリアがあるだけでなく、子ども達の遊べる空間等あることが満足度を高めている魅力があった。

また、ヨコハマ・エアキャビンは、JR桜木町駅と新港地区の運河パークを結ぶ都市型ロープウェイで年間100万人が利用し、このエリアの魅力を高めている。

このように、大人も子どもも楽しめる空間づくりは北中城村の今後の観光を考えたときには大いに参考になる。

研修・現場視察から見えるもの 政務活動報告

①東京都世田谷区役所・財務部経理課 「公契約条例について」

②こども家庭庁 「保育政策について」

③千葉県富津市 わこう村和光保育園 「保育の質について」

■〈調査期日〉令和7年5月12日～14日

■〈研修場所〉東京都、千葉県

■〈参加議員〉平安山和美 議員

■〈調査項目〉公契約、保育事業

自治体が締結する公契約条例の制定により、適切な入札と適正な労働条件を確保し公共サービスの質を高めるだけでなく、事業者の経営環境の改善に繋がっている。

保育事業を視察して、これからの時代、保育に求められる力として多様な発想を尊重し合い協力して取り組む力が必要である。大人も子どもも共に声を出し合い考えを共有しながら日々の生活を築いていく姿勢と視点が必要と考える。



世田谷区役所



こども家庭庁での意見交換



和光保育園

①東京都・防衛省 「宮崎防衛副大臣への北中城村の課題要請行動」

②静岡県・日本平 「国宝久能山東照宮を中心とする日本平の観光地形成」

③岐阜県・岐阜城 「岐阜公園商業施設化・岐阜城楽市」プロジェクト

④愛知県名古屋市 「名古屋鉄道神宮前駅西側街区再開発プロジェクト」



防衛省・宮崎防衛副大臣室



日本平観光協会員との意見交換会



名鉄観光地域活性化推進部での研修会

■〈調査期日〉令和7年11月17日～19日

■〈研修場所〉東京都、静岡県、岐阜県、愛知県

■〈参加議員〉大城律也 議員、伊集守吉 議員、比嘉正志 議員、喜屋武功 議員、川上龍太 議員

■〈調査項目〉①防衛省への要請活動 ②観光地先進事例研修

東京では宮崎防衛副大臣に北中城村域米軍基地の返還状況含めて村内事業への協力要請を行い、静岡県日本平や岐阜県岐阜城楽市プロジェクト、愛知県熱田神宮前駅西側街区再開発についての取組みについて、如何にして人が集い賑わいが満足度につながるかについて学んできた。

※今回掲載されていない議員の政務活動報告については次回号で掲載予定です。

シリーズ 頑張る
島んちゅ! No.6

村民劇「比嘉太郎物語」 ～ガジュマルの下で～ 満員御礼!感奮興起!



令和7年11月22日・23日に開催された北中城村民劇は、その名の通り「北中城村民」が作り上げた作品で、出演者のほとんどが村民でしかも初めて演技する方ばかり。約4か月間、稽古を重ねて作り上げた村民劇の中心である、演出の花城清長さん(北中城村文化協会会長)と主演の喜舎場雅也さん(役場職員)に劇が完成するまでの経緯や想いをインタビューしてきました。

演出を引き受け、主役を抜擢した経緯

● **花城さん** 脚本家の仲松昌次さんから「北中城村で劇を作りたい」とあり、「北中城の為なら何でもやります」と返事をした。

喜舎場さんと会った時に、雰囲気比嘉太郎に似て、声も舞台に向いていると思い、依頼した。

主役を引き受けた経緯

● **喜舎場さん** きっかけは北中城村福祉課のシルバータレントのスカウトで花城さんを訪ねた時に、「今度何かお願いするかも」と逆スカウトされた。後日、中央公民館で花城さんから出演依頼があった時は、福祉課のお願いもしていたので断ることは考えずに承諾。帰りに駐車場まで歩きながら「ちなみに何役ですか?」と質問したら「主役さ」と聞いてとてもビックリした!

1番大変だったこと

● **花城さん** 村民の中から出演者を探す事や衣装・小道具等を集める事が大変であった。足りないものは妻に手作り等でサポートしてもらい、感謝している。エンディングの演出には苦勞した。

● **喜舎場さん** セリフを覚える事が1番大変で、夜目を覚ますとセリフを口ずさんでいる事もあった。また、稽古風景の録画を見ると自分が思っているよりも表現が小さかったりと、舞台劇の難しさを痛感した。(花城さんは全ての練習で1番先に来て準備をしてくれていて、花城さんもとても大変だったと思う。)

劇中の好きなシーンは

● **花城さん** 主役の1人語りのシーンは、ホロっときた。初めての舞台であれだけできるのは大したもの。

● **喜舎場さん** たかしの父と母を訪ねるシーンは「太郎は自分が生き残って申し訳ない気持ちで戦死の事を伝えに行ったが、長生きしてくださいと言われた。」演技を重ねていくうちに1番気持ちが入り、自然と震えが出た。演技ってこうやるんだと思った。

今後またやりたいか

● **花城さん** 機会があればやっても良い。今回、嬉しかったのが終わった後に出演者の誰一人「もうやりたくない」と言わなかった。反対に「声をかけてくれてありがとう」と言われて嬉しかった。

● **喜舎場さん** 劇が終わった後も、いろいろな所で声をかけてもらおう。劇を通してたくさんの方々繋がりができたことは1番嬉しい。妻や職場等、色々な人に支えられていると改めて感じる事ができた。こういう思いや感動を他の新たな人に体験して欲しいとも思う。



左から花城さん、喜舎場さん

60年に1度のパワフルな年

編集後記

2026年は「丙午」の年。実は、正式な干支とは、「子・丑・寅」の十二支だけではなく、そこに「甲・乙・丙…」などで表す十干を組み合わせたものです。「陽」や「火」を意味する「丙」と「火」の気が強まる時期「の象徴である「午」が重なる60年に1度の気力が高まるパワフルな年で、停滞していた物事が一気に動き出す年とも言われています。我々、北中城村議会もより一層、気力・情熱を注ぎながら良い議会を目指していきます。議会だよりを作成するにあたって、我々委員会がこれまで同様に村民の皆様へ直接インタビューに伺い、村政に対する住民の声を掲載していきますのでご協力宜しくお願いします。